

<未就学児調査>

山北町 子ども・子育てに関するアンケート調査

～ ご協力をお願い ～

皆様には、日ごろから山北町政へのご協力をいただきありがとうございます。

山北町では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援制度のもと、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、平成27年度から5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を策定し計画的に事業を実施してきました。現計画が平成31年度をもって終了するにあたり、引き続き計画的に事業を実施すべく第二期山北町子ども・子育て支援事業計画を策定するためアンケート調査を実施します。

この調査は、皆様の教育・保育・子育て支援に関する“現在の利用状況”や“今後の利用希望”を把握し、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の“量の見込み”を算出するために実施するもので、町内にお住まいの小学生以下のお子さんがいらっしゃる全世帯にご協力をお願いするものです。

また、ご回答をいただいた内容は、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

ご多忙とは存じますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

山北町長 湯川 裕司

～ 記入にあたってのお願い ～

1. アンケートには、お子さまの保護者など養育を行う方がご記入ください。
2. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
3. 数字（年齢や時間帯等）をうかがう質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制でご記入ください。（例：午後1時 → 13時）
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
5. 記入後は、同封の封筒に入れ、封をして、12月21日（金）までにポストへ投函ください。
6. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

<お願い>「山北町 子ども・子育てに関するアンケート調査」は、0歳から小学生のお子さんをお持ちの保護者を対象に実施しています。そのため、**対象となる就学前のお子さんが複数いる時は、同様の調査票が届きます。その場合には、年齢が一番低いお子さんの調査票をご記入ください。**（他の調査票は破棄していただいて構いません。）

（用語説明）幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
（学校教育法第22条）

保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）

認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）

子育て：教育・保育・その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の園における教育の意味で用いています

★問合せ先★ 調査票に関するご不明な点やお問合せは、下記までご連絡ください。

山北町役場 福祉課 子ども支援班 （電話）75-3644

（電話受付時間：月～金曜日 8:30～17:15）

回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に事業を実施しています。

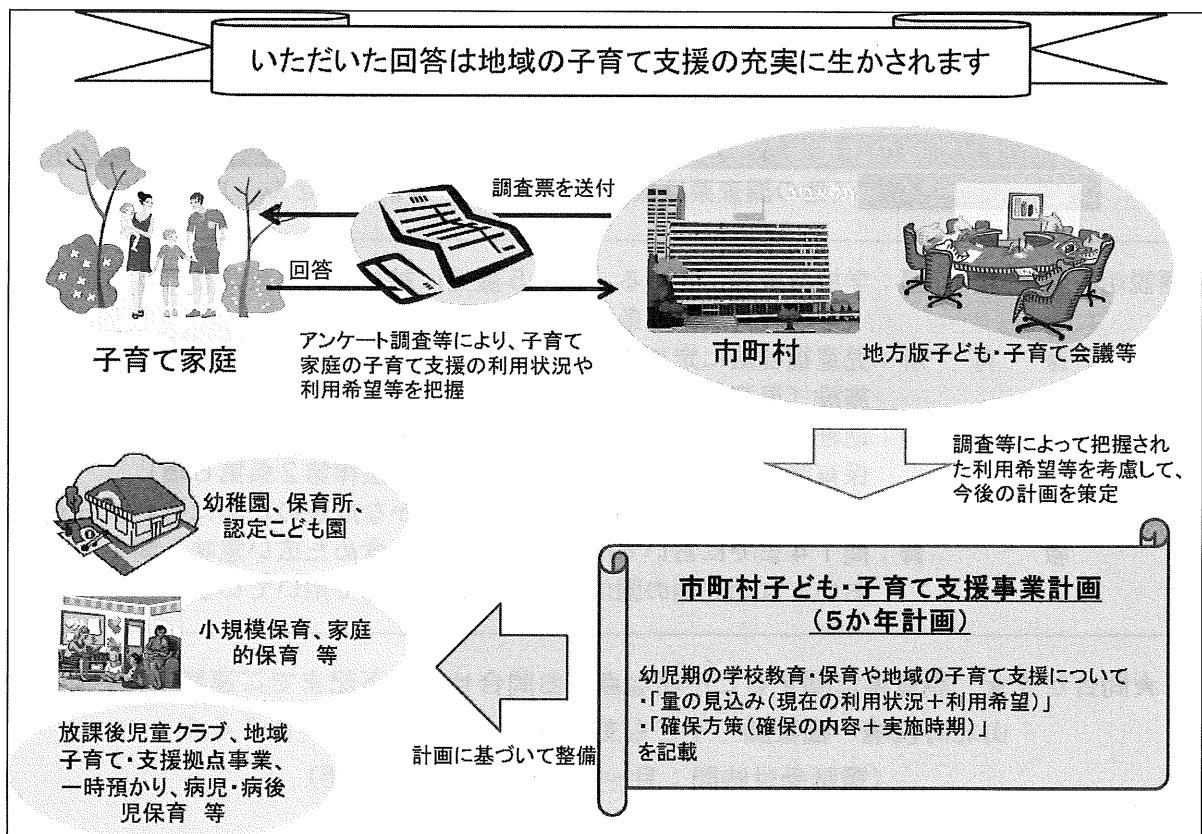
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者の、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。



●お住まいの地域について

問1 お住まいの地区を教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 山北 | 2. 岸 | 3. 向原 | 4. 平山 |
| 5. 共和 | 6. 清水 | 7. 三保 | |

●封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月を教えてください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

平成 □□年 □□月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。

お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、宛名のお子さん以外の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 □人 平成 □□年 □□月生まれ 平成 □□年 □□月生まれ
平成 □□年 □□月生まれ 平成 □□年 □□月生まれ

問4 この調査票にご回答いただいている方を教えてください。(○は1つ)

※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

- | | |
|----------------|-------|
| 1. 母親 | 2. 父親 |
| 3. その他(同居人等) (|) |

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)

※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 |
| 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 (|) |

●子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。

(○はいくつでも) ※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 |
| 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 保育所 |
| 7. 認定こども園 | 8. その他 (|

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境は何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 |
| 3. 幼稚園 | 4. 保育所 |
| 5. 認定こども園 | 6. その他 (|

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(○はいくつでも)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

→問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(○はいくつでも)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

➡問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。（○は1つ）

1. いる／ある
2. いない／ない

問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

→問10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（○はいくつでも）

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO
5. 保健所・保健センター
6. 保育士
7. 幼稚園教諭
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他（ ）

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

●宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】（○は１つ）

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

---> (2)へ

（１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

（１）-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

（１）-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず （例）０８時～１８時のように、２４時間制でお答えください。

（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時

（２）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】（○は１つ）

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

---> 問13へ

（２）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

（２）-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

（２）-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず （例）０８時～１８時のように、２４時間制でお答えください。

（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時

問12の(1)または(2)で「3.～4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問14へお進みください。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問15へお進みください。

問14 就労したいという希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

該当する□内には数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→(1)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)

⇒ 1週当たり □ 日 1日当たり □□ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→(2)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)

⇒ 1週当たり □ 日 1日当たり □□ 時間

利用していない

問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

→問15-5 利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）
利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ ☐ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ☐ ）

すべての方にうかがいます。

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（○はいくつでも）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所※4の認定こども園を除く
（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. その他（ ☐ ）

13. 利用希望はない

問16で「1～12.」（利用希望がある）に○をつけた方にうかがいます。

→問16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。（○は1つ）

1. 山北町
2. 他の市区町村

問16で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。

→問16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

1. はい
2. いいえ

●宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（○は1つ）

また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）を利用している

1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ □ 回程度

2. 利用していない

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○は1つ）

また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい

1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ □ 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週当たり 更に □ 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □ □ 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているもの（A）や、これまでに利用したことがあるもの（B）、今後利用したいと思うもの（C）をお答えください。（○は、①～⑨の事業ごとにそれぞれ1つ）

※なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①ママ・パパクラス	1	2	1	2	1	2
②乳幼児ニコニコ相談	1	2	1	2	1	2
③幼稚園や保育園で実施している 家庭教育に関する学級	1	2	1	2	1	2
④就学に関する教育相談	1	2	1	2	1	2
⑤虐待予防相談（乳幼児～高齢者まで）	1	2	1	2	1	2
⑥キッズ・カーニバル	1	2	1	2	1	2
⑦子育て支援教室	1	2	1	2	1	2
⑧子育て世代包括支援センター 「すこやか」	1	2	1	2	1	2
⑨病児保育室ピーターパン	1	2	1	2	1	2

●宛名のお子さんの土曜と日曜日・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○はそれぞれ1つ）

希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

- | | | | |
|-----------------|--------------|---|---|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ 利用したい時間帯 | <input type="text"/> <input type="text"/> 時から | <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | | |

（2）日曜日・祝日

- | | | | |
|-----------------|--------------|---|---|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ 利用したい時間帯 | <input type="text"/> <input type="text"/> 時から | <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | | |

問20の（1）または（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため |
| 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため |
| 4. 息抜きのため |
| 5. その他（ <input type="text"/> ） |

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | | | |
|---------------------|--------------|---|---|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ 利用したい時間帯 | <input type="text"/> <input type="text"/> 時から | <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | | |

問21で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため |
| 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため |
| 4. 息抜きのため |
| 5. その他（ <input type="text"/> ） |

●宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問23にお進みください。

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

1. あった

2. なかった

問22で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

→問22-1 その際、この1年間に行った対処方法を教えてください。（○はいくつでも）

○をつけたものそれぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字）

1. 父親が休んだ	□	□	日
2. 母親が休んだ	□	□	日
3. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□	□	日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□	□	日
5. 病児・病後児の保育を利用した	□	□	日
6. ベビーシッターを利用した	□	□	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	□	□	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□	□	日
9. その他（	□	□	日

※「7.ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問22-1で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

→問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

（○は1つ）日数についても□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日

2. 利用したいとは思わない

問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

→問22-3 その際、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（○はいくつでも）

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（

問22-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方に伺います。

→問22-4 そう思われる理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（

問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。(○は1つ)
「3」から「9」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。(数字は一桁に一字)

2. 休んで見ることは非常に難しい

→問22-6 そう思う理由を教えてください。(〇はいくつでも)

3. 休暇日数が足りないので休めない 4. その他 ()

(きょうだいがない方 ⇒ 問23へ)

6. その他 ()

9. 利用しない

●宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（○はいくつでも）
また、それぞれの1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。
（数字は一桁に一字）

1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□	□	日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	□	□	日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	□	□	日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	□	□	日
5. ベビーシッター	□	□	日
6. その他（ ）	□	□	日
7. 利用していない			

問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

→問23-1 現在利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない |
| 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある |
| 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い |
| 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない |
| 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. その他（
） |

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思いますか。（○は1つ）

1. 利用したい ⇒ ☐ ☐ 日

2. 利用する必要はない

問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

→問24-1 目的ごとに、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。必要な日数をご記入ください。（数字は一桁に一字）

※なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

- | | | | |
|--|--------------------------|--------------------------|---|
| 1. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 | ☐ | ☐ | 日 |
| 2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等 | ☐ | ☐ | 日 |
| 3. 不定期の就労 | ☐ | ☐ | 日 |
| 4. その他（ | ☐ | ☐ | 日 |

→問24-2 問24-1の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） |
| 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等） |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ |

問25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（○は1つ）

※預け先が見つからなかった場合も含みます。

1. あった

2. なかった

問25で「1. あった」と答えた方にうかがいます。

→問25-1 その際、この1年間の対処方法ごとの日数も□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

- | | | | |
|--|--------------------------|--------------------------|---|
| 1. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった | ☐ | ☐ | 泊 |
| 2. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した
（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業） | ☐ | ☐ | 泊 |
| 3. 「2」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した | ☐ | ☐ | 泊 |
| 4. 仕方なく子どもを同行させた | ☐ | ☐ | 泊 |
| 5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | ☐ | ☐ | 泊 |
| 6. その他（ | ☐ | ☐ | 泊 |

問25-1で「1.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

→問25-2 その場合の頼みやすさはどの程度でしたか。（○は1つ）

- | |
|-------------------|
| 1. 非常に頼みにくい |
| 2. どちらかというとな頼みにくい |
| 3. 特に頼みにくくはない |

●宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

- 問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）
それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。
また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。
時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）

※「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい
4. 児童館 ※1	週		日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週		日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週		日くらい
		→下校時から 時まで	
7. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週		日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

- 問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）
それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。
また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。
時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい
4. 児童館 ※1	週		日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週		日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週		日くらい
		→下校時から 時まで	
7. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週		日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問26または問27で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。

問28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は1つずつ）

また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。
（数字は一枠に一字）

※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 1～3年生（低学年）の間は利用したい
2. 4年生になっても利用したい
3. 5年生になっても利用したい
4. 6年生になっても利用したい
5. 利用する必要はない

} ⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

（2）日曜日・祝日

1. 1～3年生（低学年）の間は利用したい
2. 4年生になっても利用したい
3. 5年生になっても利用したい
4. 6年生になっても利用したい
5. 利用する必要はない

} ⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は1つ）

また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。
（数字は一枠に一字）

※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 1～3年生（低学年）の間は利用したい
2. 4年生になっても利用したい
3. 5年生になっても利用したい
4. 6年生になっても利用したい
5. 利用する必要はない

} ⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

●幼児教育・保育の無償化について

問30 2019年10月から幼児教育・保育の無償化が実施される予定ですが、無償になる上限金額が定められていることや、0～2歳児は住民税非課税世帯のみが無償化の対象になることなど、無償化の内容をご存知ですか。（○は1つ）

1. 無償化の内容を知っている
2. 無償化になることは知っているが内容は知らない
3. 無償化になることを知らない

問31 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、現在利用している教育・保育施設を継続して利用したいですか。それとも、異なる教育・保育施設を利用したいですか。（○は1つ）

1. 継続して利用したい
2. 異なる教育・保育施設を利用したい
3. 現在教育・保育施設を利用していないが、新たに教育・保育施設を利用したい
4. 現在教育・保育施設を利用しておらず、新たに教育・保育施設の利用は希望しない

問31で「2.」または「3.」に○をつけた方にうかがいます。

→問31-1 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、新たに利用を希望する施設はどれですか。申し込みの希望が叶う前提でお答えください。（○はいくつでも）

1. 幼稚園
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所※4の認定こども園を除く
（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. その他（ ）
13. 利用希望はない

問31-1で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。

→問31-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

1. はい
2. いいえ

問32 幼児教育・保育の無償化が実現したら、これにより子どもの人数を増やしたいと思いますか。（○は1つ）

1. 2人以上増やしたい
2. 1人増やしたい
3. 増やしたいとは思わない

●すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問33 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
 母親・父親それぞれについて教えてください。
 また、取得していない方はその理由を教えてください。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない	3. 取得していない
↓ 取得していない理由	↓ 取得していない理由
①母親（○はいくつでも）	②父親（○はいくつでも）
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった	3. 仕事に戻るのが難しそうだった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 保育所（園）などに預けることができた
7. 保育所（園）などに預けることができた	7. 配偶者が育児休業制度を利用した
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもら えるなど、制度を利用する必要がなかった
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもら えるなど、制度を利用する必要がなかった	9. 子育てや家事に専念するため退職した
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10. 職場に育児休業の制度がなかった （就業規則に定めがなかった）
11. 職場に育児休業の制度がなかった （就業規則に定めがなかった）	11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を 満たさなかった
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を 満たさなかった	12. 育児休業を取得できることを知らなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13. その他（ ）
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間） を取得できることを知らず、退職した	
15. その他（ ）	

子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあります

問33-1 そのことをご存じでしたか。（○は1つ）

- | |
|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた |
| 2. 育児休業給付のみ知っていた |
| 3. 保険料免除のみ知っていた |
| 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

問33で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問33-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問33-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問33-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。
あるいはそれ以外でしたか。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

※また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

問33-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。

また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

①母親（数字は一桁に一字）	②父親（数字は一桁に一字）
実際の取得期間 歳 ヶ月	実際の取得期間 歳 ヶ月
希 望 歳 ヶ月	希 望 歳 ヶ月

問33-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

①母親（数字は一桁に一字）	②父親（数字は一桁に一字）
希 望 歳 ヶ月	希 望 歳 ヶ月

問33-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問33-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

（1）「希望」より早く復帰した方

①母親（○はいくつでも）	②父親（○はいくつでも）
1. 希望する保育所に入るため	1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）	5. その他（ ）

（2）「希望」より遅く復帰した方

①母親（○はいくつでも）	②父親（○はいくつでも）
1. 希望する保育所に入れなかったため	1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）	6. その他（ ）

問33-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問33-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

また、短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 利用する必要がなかった （フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった （利用できなかった）	1. 利用する必要がなかった （フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった （利用できなかった）
↓ 利用しなかった（利用できなかった）理由	↓ 利用しなかった（利用できなかった）理由
①母親（○はいくつでも）	②父親（○はいくつでも）
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい 雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額される 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の 優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度 を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみて もらえるなど、子どもをみってくれる人がいた 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった （就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを 知らなかった 10. その他（ ）	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい 雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額される 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の 優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度 を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみて もらえるなど、子どもをみってくれる人がいた 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった （就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らな かった 10. その他（ ）

問33-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問33-8 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

①母親（○は1つ）	②父親（○は1つ）
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

問34 お住まいの地域における子育ての環境や支援へ満足していますか。（○は1つ）

1. 満足度が低い	2. やや満足度が低い
3. どちらともいえない	4. やや満足度が高い
5. 満足度が高い	

問35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

記入後は、同封の封筒に入れ、封をして、12月21日（金）までにポストへ投函ください。